

//// 洲本市議会だより ////

# みんなのぎかい

2026.2.15 vol.78



特集 市議会委員会条例の改正など

公募写真 第23号

写真タイトル：笑顔 撮影者：山口 仁嗣さん

撮影場所：特別養護老人ホーム 五色・サルビアホール

# 常任委員会を再編・新設

令和4年12月定例市議会で、次期改選から議員定数を18人から16人に削減する条例が可決されました。令和8年3月に改選が行われることから、市議会の運営のあり方を検討し、基本的な考え方が決定され、委員会条例の改正が可決されましたので紹介します。



## ◆新しい常任委員会の構成

総務文教  
(定数8人)

- 企画情報部(企画課、秘書広報課、DX推進課)
- 総務部(総務課、消防防災課、由良支所)
- 財務部(財政課、行革推進室、税務課、収納対策課)
- 五色総合事務所(地域生活課、窓口サービス課)
- 会計課・選挙管理委員会事務局・監査委員事務局・固定資産評価審査委員会・議会事務局
- 教育委員会事務局(教育総務課、学校教育課、生涯学習課)

産業建設厚生  
(定数8人)

- 産業振興部(農政課、農地整備課、林務水産課、商工観光課)
- 都市整備部(用地課、建設課、都市計画課、下水道課)
- 農業委員会事務局
- 市民生活部(市民協働課、生活環境課、保険医療課)
- 健康福祉部(福祉課、子ども子育て課、介護福祉課、健康増進課、サービス事業所)

予算(定数 正副議長を除く14人)

当初予算、補正予算に関すること

## ◆任期は1年から2年に

現在、常任委員の任期は1年ですが、より調査を充実させ、政策提言につなげるため、任期を2年に変更します。

## これまでの常任委員会の構成

総務

- 企画情報部(企画課、秘書広報課、DX推進課)
- 総務部(総務課、消防防災課、由良支所)
- 財務部(財政課、行革推進室、税務課、収納対策課)
- 五色総合事務所(地域生活課、窓口サービス課)
- 会計課・選挙管理委員会事務局・監査委員事務局・固定資産評価審査委員会・議会事務局

教育民生

- 市民生活部(市民協働課、生活環境課、保険医療課)
- 健康福祉部(福祉課、子ども子育て課、介護福祉課、健康増進課、サービス事業所)
- 教育委員会事務局(教育総務課、学校教育課、生涯学習課)

産業建設

- 産業振興部(農政課、農地整備課、林務水産課、商工観光課)
- 都市整備部(用地課、建設課、都市計画課、下水道課)
- 農業委員会事務局

## これまでの予算審査

予算審査特別委員会

◎当初予算は、予算審査特別委員会を設置(議長、副議長除く)し、審査しています。

各常任委員会

◎補正予算は、議会に上程される都度、所管する常任委員会に付託して審査しています。

## 討 論

### ●議員提出議案第4号●

**反対** 木元 寿夫(うずしお)

予算常任委員会は、他市でも設置していないところが多い。新たな委員会は必要ない。人口要件、財政力指数により本市は過疎指定された。無駄な経費も必要なのでは。

**賛成** 小松 茂(宙)

木元議員は「違法状態であれば賛成」と発言したが、会議規則に「表決には、条件をつけることができない」とある。定数削減に伴う議論の結果で、原案通り決るべき。

**賛成** 福島 昌幸(「志」)

補正予算について、正副議長を除く全議員が審査することで、情報共有が図られる。常任委員会では、より専門的かつ深い議論ができる環境が整備される。

# 報酬審答申に基づき改正



12月定例会市議会は、「洲本市特別職報酬等審議会答申」を受け、期末手当などに関わる条例改正を賛成多数で可決しました。答申は、報酬などについては据え置くことが妥当としたので、改正はありませんでした。答申内容骨子と改正点を掲載します。

## ◆改正後の期末手当

期末手当の支給率(割合)は一般職の常勤職員と同様、人事院勧告に準拠し、4.65ヶ月分に改正する。

## ◆期末手当の減額措置の復元

平成18年度から実施してきた期末手当の5%分減額措置は廃止し、次期選挙で選出された新しい議員に委ねる。

## ◆特別委員長・副委員長に支給

広報広聴特別委員会の正副委員長について、取材や編集作業などに費やす時間が相当なものになっていると判断し、委員長に12,000円、副委員長に10,000円の報酬を加算する。

## 報酬審議会の答申内容(骨子)

平成26年度から、人事院勧告に基づき一般職の給与、期末勤勉手当は引き上げられているのに対し、議員の期末手当は、引き上げを見送っており、県下各市の中で支給割合が低い状態となっている。近年経済の好転を受けプラス回答になっており、処遇見直しを行うタイミングである。

合併後の平成18年、当時の行財政改革、および当時の経済情勢を考慮し、減額が望ましいとこれまで一律5%減額措置を実施してきた。実施から20年が経過することから、新しい議員が選ばれる機会に、減額措置を見直し、減額の必要性の判断をゆだねるべきである。

広報広聴特別委員会正副委員長への報酬については、議会における「職務の性質」、「業務内容」、「勤務形態」から勘案し、支給する事が妥当である。なお、支給額については、県下各市の状況を検証するとともに、既設の常任委員会の支給額と均衡が図られるよう配慮する。

## 討 論

### ●議案第82号、議案第83号●

#### 反対 間森 和生(日本共産党)

議員の一時金は減額されているとはいえ、支給総額では淡路市や南あわじ市より多い。増額につながる改正は、市民の理解が得られない。常勤の特別職の一時金についても反対である。

#### 賛成 笹田 守(「志」)

両議案は、市民の代表を委員とする洲本市特別職報酬等審議会で取りまとめた答申を尊重して提出された。これを否定することは、市民の意向をないがしろにすることに繋がりがかねない。

### ●議案第82号●

#### 賛成 柳川 真一(宙)

議案に対して反対の議員については、来年3月に行われる市議会選挙に当選したあかつきには、報酬の上振れ分については供託し、辞職後に市に返納すること。

#### 反対 木元 寿夫(うずしお)

いただけるものは多いほうが良いに決まっているけれども、ここはやはり慎重にすべきで、今現在では手をつけるべきではないと思う。

#### 反対 先田 正一(公明党)

多くの市民が物価高に賃金が追いつかず、厳しい状況に直面している。この状況で特別委員会などの報酬を追加増額することには、市民の方から理解が得られない。

## 物価高に対応など

# 総額9億7,258万円の補正予算可決

### ～補正予算の主な内容～

#### 物価高対策

- ◎物価高対応子育て応援手当支給事業費 …………… 1億1,100万円  
0歳から高校生年代までの子ども1人当たり2万円の子育て応援手当を支給



#### 健康福祉対策

- ◎自立支援費 …………… 1億9,798万3,000円  
障害福祉サービス利用者数増による給付費などの追加
- ◎老人福祉施設入所費 …………… 2,696万円

#### 子ども子育て対策

- ◎障害児通所支援費 …………… 6,517万1,000円

#### 地域振興対策

- ◎インバウンド受入環境整備高度化事業費 …………… 287万6,000円

#### 産業振興対策

- ◎農地集積事業費 …………… 777万円



#### 災害・防災対策

- ◎令和7年発生農業土木災害復旧費 …………… 2,918万円
- ◎災害応急対策費 …………… 1,700万円

#### その他

- ◎国・県補助金の精算還付返納金 …………… 6,643万7,000円
- ◎人件費（正規職員）の精査 …………… 9,496万3,000円
- ◎債務負担行為の追加  
コミュニティバス運行委託料  
タブレット端末購入費 など
- ◎特別会計補正予算
- ◎企業会計補正予算



## 議案審査 Q&A

### 市税条例を改正

**Q** 洲本市税条例改正で、保護者と生計を一にする大学生の扶養控除の取扱いはどうなるか。

**A** 【**税務課**】改正前の大学生年代（年齢19歳以上23歳未満）の扶養控除は、大学生本人の所得が58万円（給与収入で123万円）以下の場合、「特定扶養控除」として対象となる。今回の改正で「特定親族特別控除」が新設され、所得58万円（給与収入で123万円）を超えても、所得123万円（給与収入で188万円）以下であれば一定の控除が受けられる。



### 投票立会人報酬

**Q** 投票立会人が午前・午後で交替となる場合の報酬は。

**A** 【**選挙管理委員会事務局**】時間がちょうど半分ずつで交替いただいているため、それぞれ半額を支払っている。

### 高齢者予防接種事業

**Q** コロナワクチンの接種希望者は減っているのか。

**A** 【**健康増進課**】コロナワクチンは令和6年度から定期接種となり、6年度接種実績が11.4%、インフルエンザの方は53.0%となっており、コロナの方は低い接種率となっている。

## 消費生活対策費

**Q** 出前講座が増えているということだが、何件くらい増えたのか。

**A** 【市民協働課】 予定含めて5件増えている。食育やスマホによる危険性に関する内容が多く、小中学校からの依頼が増えてきている。



## 校外学習バス借り上げ

**Q** 小中学校の万博行きのバスの借り上げについて計画と実際の差は。

**A** 【学校教育課】 計画では全児童生徒が参加することになっていたが、夏の暑さもあり、小学校低学年の参加を見合わせる学校もあった。

## 企業支援事業交付金

**Q** 340万円の増額とあるが、実績と交付する業者は。

**A** 【商工観光課】 年間25件を予定していたが、すでに完了した件数が26件、相談件数が5件あり増額した。最近は、飲食業のほか、ネイルサロンなどの美容業の起業が多い。

## 下内膳線橋梁工事

**Q** 契約金額の補正額が約4,000万円増になっているが。

**A** 【建設課】 当初陸路での輸送を考えていたが、橋梁の長さが45m、幅員が11mであり、制限を超えるため、不可能となった。海上輸送に切り替えたため、予算も増額となった。大阪南港から津名港までは海上輸送、その後陸路で搬入した。



## 動議により提案された4本の決議案

### いずれも賛成少数により否決

12月9日、定例市議会に木元寿夫・久保哲二・濱野隆議員から動議として順次提出された、以下の決議案について質疑が行われました。

決議案第1号  
中野ちかこ議員の議会運営委員長不信任決議案  
決議案第2号  
木戸隆一郎議員の議長不信任決議案

決議案第3号  
中野ちかこ議員の議員辞職勧告決議案  
決議案第4号  
木戸隆一郎議員の議員辞職勧告決議案

上記の決議案について、提出者の木元寿夫議員による提案説明を受けたのち質疑・討論を行い、採決の結果、賛成少数でいずれも否決されました。

## 討論

### ●決議案1号、第2号、第3号、第4号●

#### 反対 笹田 守(「志」)

議長、委員長として一度も高圧的な態度はなく、常に公平、公正、中立に臨んでいる。議会運営委員会で、議長は請願に関する採決に加わらなかった。その必要性のために、委員同意のもとに秘密会とした。秘密会であるため、質問に答弁しなかったのは、正しい。不適格については当たらない。

議会運営委員会において、秘密会に決定した請願を付託することもできるが、総合的に協議した結果である。発議者こそ事実と異なる趣旨説明をしており、そのほうが問題と考える。節目にある本年の議長という大役を全うしており、辞職を求めるような状況ではない。発議者に全文お返しする。

#### 賛成 久保 哲二(うずしお)

(討論の掲載について) 久保議員の賛成討論は不穏当な発言のため、掲載しませんでした。

# 12月定例市議会の概要

久保議員・木元議員に対する

## 問責決議を可決

12月16日定例市議会において、小野章二議員ほか7名の賛成者による「決議案第5号 久保哲二議員に対する問責決議」が、また笹田守議員ほか7名の賛成者による「決議案第6号 木元寿夫議員に対する問責決議」が提案されました。

上記の決議案について、提案者の小野・笹田両議員による提案説明を受けたのち、質疑・討論を行い、採決の結果、いずれも賛成多数により可決しました。

### 討論

#### ●決議案第5号●

**賛成** 間森 和生(日本共産党)

討論内容の範囲を超えた発言だけでなく、特定の個人のプライバシーに立ち入る内容や、印象操作による不見識な発言であり、議員の発言として許しがたい。

**反対** 木元 寿夫(うずしお)

提出者に対して、質疑をさせていただき、どう理由でこの問責を出したのか聞いたが、質疑ができるうち2回聞いて、2回とも答弁できなかった。この問責決議はとても受け入れることができない。

**賛成** 小松 茂(宙)

12月9日の発言中、不穏当な発言について議長は取り消しを促した。さらに議長の制止にも従わず発言を続け、発言禁止に至った。かかる言動は容認できない。

#### ●決議案第6号●

**賛成** 近藤 昭文(日本共産党)

問責決議の内容は事実。決まったことは会派に持ち帰って全員に周知することが当然。「タイムズ」の記載の誤りは訂正、謝罪すべき。議員として責任のある行動を。

**賛成** 小野 章二(「志」)

本決議案は、地方自治法にある「議員は無礼な言葉を使用し、また他人の私生活にわたる言論をしてはならない」との重要なルールに反したことを明らかにしたものの。

**賛成** 福本 巧(宙)

議会内での会派代表者として自覚の欠く言動や、事実とは異なる認識のもと発言を繰り返す木元議員に対し、再発防止と反省を求め、問責決議案に賛成する。

## 12月定例市議会 議決結果一覧

### 賛否の分かれた議案等

※議長(木戸隆一郎)は表決には加わらない。しかし、賛否回数数のみ表明し、議案の賛否を決定する。○は賛成、×は反対、欠は欠席、一は除斥。

件名	議員名	議決結果	近藤 昭文	間森 和生	濱野 隆	久保 哲二	高島 久美子	中野 睦子	福島 昌幸	柳川 真一	先田 正一	原田 ひとみ	木元 寿夫	小野 章二	小松 茂	福本 巧	笹田 守	生田 進三	清水 茂
議案第82号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○
議案第83号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第4号	議会委員会条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
決議案第1号	中野ちかこ議員の議会運営委員長不信任決議案	否決	×	×	○	○	×	一	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	欠
決議案第2号	木戸隆一郎議員の議長不信任決議案	否決	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	欠
決議案第3号	中野ちかこ議員の議員辞職勧告決議案	否決	×	×	○	○	×	一	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○
決議案第4号	木戸隆一郎議員の議員辞職勧告決議案	否決	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	欠
決議案第5号	久保哲二議員に対する問責決議	可決	○	○	×	一	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠
決議案第6号	木元寿夫議員に対する問責決議	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	欠

※議長が除斥のため、副議長(清水 茂)が議事進行を行い、表決に加わらなかった。

### 全員賛成の議案

議案番号	件名
議案第65号	一般会計補正予算(第3号)
議案第66号	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第67号	堺財産区特別会計補正予算(第1号)
議案第68号	CATV事業特別会計補正予算(第2号)
議案第69号	介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第70号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第71号	駐車場事業会計補正予算(第1号)
議案第72号	下水道事業会計補正予算(第2号)
議案第73号	土地取得造成事業会計補正予算(第1号)

議案番号	件名
議案第74号	税条例の一部を改正する条例制定
議案第75号	児童福祉法及び子ども・子育て支援法の規定により条例に委任された基準等を定める条例の一部を改正する条例制定
議案第76号	企業誘致条例の一部を改正する条例制定
議案第77号	議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第78号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第79号	洲本市立五色認定こども園(仮称)新築工事請負変更契約締結
議案第80号	下内膳線橋梁工事(上部工)請負変更契約締結
議案第81号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第84号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定
議案第85号	令和7年度一般会計補正予算(第4号)

※表記は、正式な名称ではありません。

※一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



動画QRコード

## すべての児童生徒が適応できる教育環境を

ふくもと 福本 たくみ 巧 (宙)



### 学校再編に伴う教育環境への影響

**Q** 再編過渡期の環境変化に対する児童生徒への対応は。

**A**【教育委員会】再編時の安心感を確保するため、再編対象の学校間で合同授業や行事を実施する。再編後は、統合に伴う加配教員の配置による見守り体制の強化に加え、定期的なアンケートや教育相談の実施により、児童生徒の状態把握に努める。

**Q** 学校環境の変化に伴う放課後児童対策は。

**A**【健康福祉部】放課後児童クラブの受け入れ体制については、再編後の学校配置に応じて必要な施設の確保が必要であり、また、運営上の人員体制については、児童数の変動を見極めながら環境整備を行う。

**A**【教育委員会】放課後子ども教室の運営については、放課後児童クラブの動向を注視しつつ、連携も含めた今後の在り方や運営方法を検討する。

### 子どもたちの読書活動の推進

**Q** 子ども視点での読書推進に向けた取り組みは。

**A**【教育委員会】子どもたちによる幼稚園や学校でのお薦め図書の紹介や図書フェアの開催で本の魅力を伝える取り組みに加え、図書館での各種体験講座や映画上映会の開催とともに、子どもたちの読書に対する関心を高め、読書活動につながるさまざまな取り組みを実施している。



▲読書の推進で中核的機能を果たす図書館



動画QRコード

## ふるさと納税問題の徹底解明を

いくたしんぞう 生田進三 (無党派)



**Q** 温泉利用券問題の責任割合について、前市長は、洲本温泉観光旅館連盟と洲本市ともに50%ずつのような発言をされているにも関わらず、現市長は、洲本市の責任割合が100%と答弁されている。その理由は。

**A**【財務部】現市長は、市幹部のリーダーシップの欠如とコンプライアンス意識の低さから今回の問題につながったと考えているため。

**Q** 俣淡路島の恵みは、牛を精肉にして販売する資格を有していたか。

**A**【財務部】当時、食肉を処理する許可を得た事業者ではなく、食肉処理業者の許可を得ている別の事業者から調達し、返礼品として送付していた。

**Q** 俣淡路島の恵みが、牛肉を返礼品として取り扱う業務を始めたとき、食品衛生法上の許可を有していたか確認していたか。

**A**【財務部】確認はしていなかったと思われる。

**Q** 返礼品に係る送料とは、実際にかかった費用という考えでいいか。また、実際の送料を示す書類などの提出を求めたか。

**A**【財務部】そういう認識である。提出は、求めていなかったようである。

**Q** 返礼品に係る梱包費の根拠を問うたことはあるか。

**A**【財務部】なかったと推測される。



▲指定取消前に返礼品であったホテルニューアワジ利用券 (ML03)

※一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



## 大規模火災など自然災害を人災にしない備えを！

おの しょうじ ちころざし  
**小野章二**（「志」）



動画QRコード

### ふるさと納税制度

**Q** ふるさと納税制度復帰が叶い、二度と同じ轍を踏まないため、コンプライアンス遵守の取り組みは。

**A** 【総務部】コンプライアンス意識の向上のための研修・組織の改善・内部統制の強化・定例的な人事異動・風通しの良い組織風土の改善などに取り組んでいる。

**Q** 中間管理業務委託事業者及び返礼品提供者に対するコンプライアンスのチェック体制は。

**A** 【財務部】中間事業者とは毎月定例的に打ち合わせを行い、事務の執行状況や分析、基準に適合した制度運営がなされているか、そこでチェックしている。



### 災害への備え

**Q** 自然災害が各地で発生している。「対岸の火事」としないための備えは。

**A** 【総務部】消火栓などの消防施設の点検および消防訓練の実施。また各自で火災報知機や消火器の設置、防災グッズの用意、および隣近所での助け合いとして、避難訓練などが備えとして必要である。

**Q** 自主防災組織の必要性については。

**A** 【総務部】大規模災害発生時に被害の拡大を防ぐためには、公助だけでは限界がある。そのため、共助による防災活動を組織的かつ実効性のあるものとするために、必要な組織と考える。

## 五色地域における各事業の充実を



ささ だ まもる ちころざし  
**笹田守**（「志」）



動画QRコード

### 五色地域の各事業の進捗状況

**Q** 小学校の統合整備は。

**A** 【教育長】11月に五色中学校でスクールミーティングを開催し、52名が参加。スクールバスへの質問や、一度に5校統合をという意見があった。

質問の後、さらに小中一貫校について提案しました。

**Q** 第一次産業の振興は。

**A** 【産業振興部】ほ場整備は、鳥飼代、上堺で事業計画策定中、来年度に栢野で事業計画

策定に着手予定。

ため池整備は、今後、鮎原の頭池、川池、堺の中場池、石原池に着手する。頭池は、来年度の事業採択に向けて準備中。

**Q** 道の駅の進捗は。

**A** 【産業振興部】来年度に実施設計に着手、令和10年度中のオープンを目指す。

**Q** 道路整備事業は。

**A** 【都市整備部】美の越線は、現在道路法線の修正箇所の用地取得を行っている。角川中央線は、本年5月に整備完了。中の谷線は、美の越線完成後に検

討。流谷線は、一部で拡幅要望があり、今後協議を進める。

### まちなか広場

**Q** 地方合同庁舎整備計画について、方向性は。

**A** 【市長】神戸地方検察庁洲本支部・洲本区検察庁、洲本税務署、淡路労働基準監督署の3官署が入居し、地上4階建ての施設となる予定。中心市街地のにぎわい創出を期待している。



▲五色中学校



動画QRコード

## ケアマネ、ヘルパー不足の対応は、まったなし!!

木元 寿夫 (うげしお)



### 入札

**Q** 令和7年2月14日での監視委員会の意見をどのように受け止めたか。

**A**【財務部】1件について注視すべき落札結果の案件との指摘があり、発注方法などには幅広く入札参加の対応、今後における公正な入札事務事業の執行に生かす。

**Q** 直近の入札監視委員会開催はいつか。一番必要な時期（ふるさと納税）ではなかったのではないかと思うが。

**A**【財務部】平成27年11月が最後であったと記憶している。

### 福祉

**Q** ホームヘルパー人材確保支援事業の交付申請状況は。

**A**【健康福祉部】11月末時点で2事業者より3名分、交付額は約69万円。執行状況は約23%である。

**Q** 民生児童委員の改選の年だが定数状況は。

**A**【健康福祉部】12月1日現



在は、民生委員・児童委員の定数127名に対し、14地区が不在となっている。

### ふるさと納税

**Q** 以前の報告から約1年経過したが、お節料理の配布先の調査は進んだか。

**A**【財務部】新たに送付先が判明したものはない。

その他、孤独死、孤立死に対する対応、入札抽出案件の決定・少額随契、返礼品疑義照会、五色ふるさと振興公社職員アンケートについても質問をしました。



動画QRコード

## 補聴器購入費用助成の予算は、申請者数に見合う増額を

近藤 昭文 (日本共産党)



### 高齢者の生活と健康を守る取り組み

**Q** 補聴器購入費用の助成は、申請受付から4か月になるが、相談件数や申請者数は。

**A**【健康福祉部】1月現在で確認申請が56件、交付申請件数が42件で当初の予想を大きく上回っている。

**Q** 歯の健康、8020運動などの取り組みは。

**A**【健康福祉部】歯科医師会や歯科衛生士会と、オーラルフレイル測定会の実施や洲本市個別歯周病疾患検診や洲本市歯科保健

相談を実施している。

### 農業振興

**Q** 本市としての物価高騰対策に関する支援策は。

**A**【産業振興部】飼料購入の際の経費の一部を支援する「飼料価格高騰緊急対策事業」や「機械・設備導入支援事業」がある。

**Q** 中川原・市原地区のは場整備のメリット、進捗は。

**A**【産業振興部】最大のメリットは地元負担が「なし」ということ。「市原地区」はすべての面工事が今年度完了。「市原

2期地区」は本年度工事に着手している。



▲は場整備現場

### 地域文化の振興

**Q** 洲本城跡の案内看板の設置、また「登り石垣」の案内は。

**A**【産業振興部】日本語と英語を併記した案内看板を6か所に設置。「登り石垣」は土砂災害特別警戒区域に指定されており、安全に配慮した見学の方策を検討する。

※一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



## 災害時も安心！公式LINEの登録を！！

はら だ 原 田 ひとみ (公明党)



動画QRコード

**Q** 市民のつながり、感謝の文化、レジリエンス向上、防災力の強化を包括的に推進する考えは。

**A**【企画情報部】洲本市民憲章は、市民がつながりと連帯感を持ち、よりよい生活と住みよいまちづくりを進める心構えを示すもの。レジリエンスの育成も重要な要素であり、「市民のつながり」「感謝の文化・レジリエンスの向上」「防災・減災力の強化」の包括的な推進は、それぞれの趣旨を損なわないよう配慮しつつ、可能な範囲で進める。

**Q** 女性デジタル人材の育成について、受講後の実践機会づくりから就労・定着までを支える仕組みをどう進めるのか。

**A**【企画情報部】受講者と企業、地域をつなぐ実践の場づくりや、就労機会の創出に取り組むつつ、テレワーカーへの伴走支援体制の整備について検討し、若者・女性が定着できる環境を推進していきたい。引き続き、デジタル人材の育成を推進し、「洲本市で暮らしたい、働きたい」と思える環境づくりを進める。

**Q** 災害時などに市の最新情報を受け取れる公式LINEの登録者拡大に向けた周知や施策は。

**A**【企画情報部】これまで高齢者を中心に公式LINE未登録者への登録支援や操作相談を実施してきたが、市と連携協定を行った事業者が運営する「スマホなんでもサポート号」なども活用して登録者拡大に努める。



災害時に役立つアプリのQRコードです。読み込みください。



## 町内会組織が継続出来る対策を

やな がわ まさ かず おおぞら 柳 川 真 一 (宙)



動画QRコード

**Q** 防犯カメラ設置に対して、補助金はあるのか。

**A**【企画情報部】洲本市未来投資推進事業において、防犯カメラの設置目的は、町内会組織が主体となって取り組む活動に限定していることから、民間団体や個人は補助対象者としていない。

加入促進を支援している。そのほか町内会運営の手助けとなるハンドブックを充実させ、それぞれの町内会が抱えている課題や悩みに対しても相談体制の充実を図るなど、引き続き協働の姿勢により課題解決に取り組んでいきたい。

デジタル化は検討しなかったのか。

**A**【財務部】金券の発行は、事業者により紙かデジタル化にするのかを判断してもらっている。今後も事業者と協議しながら進めていく。

**Q** 年々減少している町内会加入数に対して存続していくための対策は。

**A**【市民生活部】加入促進チラシを作成し、転入届出の際に配布、市ホームページなどで

**Q** ふるさと納税返礼品に金券があるが、転売防止策は。

**A**【財務部】転売防止対策には、各事業者に対して偽造防止対策や有効期限の設定、番号管理などについて助言を行っている。



▲洲本市発行の町内会加入チラシ

**Q** 金券の転売防止策として、デ



動画QRコード

## 上崎市長は住民説明会で説明責任を果たせ！

くほてっし  
久保 哲 二 (うづしお)



### ふるさと納税問題

**Q** おせち料理の損害賠償について、今年の3月・6月・9月と1年を通じて議会で質問をしている。9月議会では「監査委員が精査作業中で、監査委員が決定した後、決定事項の報告があると思う」との答弁であった。しかし、未だに監査委員からの報告がない。その後のおせちの損害賠償の進捗状況を再度伺う。

**A**【財務部】 監査委員に対して監査請求依頼を行った。現在、監査委員が精査作業中と伺っている。

**Q** おせちの損害に対する監査委員の精査作業が非常に遅いと感じている。なぜ、これだけ遅いのか。

**A**【監査委員事務局】 法令に基づき適正な判断で、慎重かつ中立の立場で監査を実施している。関係者からの聴取に時間を要しているため遅れている。

**Q** 前もって通告をしているにも関わらず、今回も本会議に監査委員が出席していない。洲本市はこれだけ問題がありながら監査委員が一度も出てこない。前もって答弁を求めても出てこない状況は異常である。

る。今回の欠席は監査委員自ら欠席の申し出があったのか。

**A**【監査委員事務局】 本日の日程を伝えたが、本業における重要な出張が既に入っていたため欠席となった。



▲おせちのイメージ写真



動画QRコード

## 子どもたちが輝く洲本市へ

なかのちかこ こころざし  
中 野 睦 子 (「志」)



**Q** 社会状況の変化や、コロナ禍による子どもたちの学びの変化とは。

**A**【教育長】 令和2年度から全面実施されている学習指導要領に基づき「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しており、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視するようになってきている。また、コロナ禍により、タブレット端末の貸与が早まったことで授業改善が加速した。

**Q** 教職員の負担、配置の状況は。

**A**【教育長】 時代が変化する中で、子どもたちに必要な力も変化している。教員も、専門性を高めるため新しい知識を身に着ける必要がある。

専門性を高めることに注力できるように現場の働き方改革を進めている。教員の配置状況は、常勤講師の未配置2名、非常勤講師の未配置3名である。臨時講師の確保は年々厳しくなっている。

**Q** 4年間の上崎市政を振り返って。

**A**【市長】 任期が始まってすぐふるさと納税制度の指定取

り消しが決定し、課題への対応や解決、制度復帰への取り組みに終始した。公約の全てを達成できなかったが、市政を一步でも推進すべく全力で取り組んだ。ふるさと納税制度の復帰は一つの区切りであり、さまざまな施策展開の新たなスタートである。



※一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



## 新規漁業就業者に支援求む！

ふくしままさゆき  
**福島 昌幸** (こころざし「志」)



動画QRコード

**Q** 漁業者の高齢化・後継者不足の支援策として、若い世代が参入しやすい環境づくりにどのように取り組んでいるのか。

**A**【産業振興部】担い手育成の施策として、水産庁の経営体育成総合支援事業があり、その中に漁業現場で研修を行う指導者に対して、研修経費を支援する「長期研修支援事業」がある。

新規事業に際しての初期投資や準備に係る費用等補助制度により、ハードルを下げることはできると考える。制度利用案内や手続きのサポートは、市

からも丁寧に行っていきたい。

**Q** 「つくり育てる漁業」の今後の方針は。

**A**【産業振興部】水産資源を持続可能な形で管理・増加させることを目指す「つくり育てる漁業」は、今後の漁業振興においても、重要な要素になると考えており、取組に対し、今後とも継続して必要な支援を行っていく。

**Q** 自動運転バスの実証実験（洲本地区～由良地区）で見えてきた課題は。

**A**【産業振興部】現時点で考

える課題は、温泉街で特に道幅が狭く、かつ歩行者も多い箇所については、安全性をさらに高める工夫が必要。また運行面では、制限速度より遅い速度で走行しているため、後続車両が多くなった場合の対策が必要と考えている。

その他、未利用魚の活用を業者と協力して推進することについて要望した。



▲洲本市自動運転バス



## 市は文具店へ全額弁償を求めよ！

はまのたかし  
**濱野 隆** (うずしお)



動画QRコード

### 1台目のPC

**Q** PC所有者の市女性職員は「無償の贈与状態」ではないか？

**A**【総務部】ご指摘にはあたらないものと認識している。

**Q** PC関連商品は文具店へ賠償請求したか？

**A**【総務部】現時点では確認することが困難で、賠償請求していない。

### 虚偽とされる文書

**Q** 虚偽文書に関して市温泉観光旅館連盟への対応は。

**A**【財務部】連盟に対し、指定取り消しに至った経緯を陳謝した。

**Q** どのような形で陳謝したか。

**A**【財務部】本年7月7日の例会に市長が出席し、14日にも会っている。

**Q** 以前、元副市長濱田氏は「特定メーカー・型番指定の仕様書」は担当者へ差し戻し

た。ごしきこども園入札では仕様書をチェックするか。

**A**【財務部】仕様書の妥当性と適正の確保に努める。

市内文具店から取得したPC 3台は行政運営全体に深刻な影響を及ぼしたと思われる。市は未弁済の確実な回収、業者へ「市庁舎出入り禁止措置」「入札事業者登録から排除」など厳正な対応を求める。



▲「仕様書」メーカー指定・型番指定



動画QRコード

## ごしきこども園に通園する県道整備を急げ

ま もり かず お  
問 森 和 生 (日本共産党)



### ごしきこども園

**Q** 開園までのスケジュールや保護者への説明会は。

**A**【健康福祉部】工期は2月13日までであり、2月上旬に行われる各保育園の生活発表会にあわせて説明会を実施する予定である。

**Q** 県道の整備要望に対する具体的な改善計画は。

**A**【都市整備部】今回の要望については、幅員が狭い水路のふたがけや、すれ違いが困難な場所での退避所設置など整備できないか県と協議している。

**Q** 五色中から上がった県道との三差路の見通しが悪いと聞いている。植え込みの撤去などを実施できないか。

**A**【都市整備部】地元からもその要望をもらっているのですが、了解が得られれば対応できると聞いている。

### 学校再編スケジュール案

**Q** 最短の例として、3年間で鳥飼小・堺小と広石小とを統合するとされているが、拙速なスケジュールである。将来五色地域の小学校を1校に再編するなら、少し時間をかけ五色中の大規模改修とともに、中学校敷地に併設

する形で小学校を建設するのが住民合意を得られる方法では。

**A**【教育長】スケジュールも含め、事務局案に固執するつもりはない。小中一貫教育の研究や学校運営への影響、一緒に学ぶことのメリット・デメリットなどの情報共有を図りつつ、多くの方にご理解ご支持いただけるよう、より望ましい形での学校を実現できるように、今後も努めたい。



▲見通しが悪い県道の三差路



動画QRコード

## 即効性・切れ目のない物価高騰対策を

さき た しょう いち  
先 田 正 一 (公明党)



### 物価高騰対策

**Q** プレミアム付き商品券「スモトペイ」は。

**A**【産業振興部】今年度は1口5,000円、プレミア率25%の設定。10口の申し込みが全体の74%を占めており、物価高騰対策に対する高い意識があった。

**Q** 即効性のある支援は。

**A**【財務部】次の経済対策では、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援。食料品の高騰対策など、市の実情に即した効果的な支援を検討する。

### 観光振興

**Q** シャトルバス・自動運転バスの今後の方向性は。

**A**【産業振興部】実証実験のシャトルバスでは14日間で270人、自動運転バスでは、途中であるが日中ルートでは552人、夜間ルートでは192人、昼夜合わせて744人の利用であった。今後は、採算性と継続性を持つ運営業態の関係者と検討、協議する。

**Q** 本市でも空飛ぶ車の実証実験の実施は。

**A**【産業振興部】多面的な課題に対して、国や県、事業

者などと連携をとりながら情報収集して、引き続き検討する。

### 選挙制度改革

**Q** 期日前投票所で記入する宣誓書は。

**A**【選挙管理委員会】令和7年度末を目標に、国による自治体システム標準化を進め、1人1枚の投票所入場券に様式変更、宣誓書を印刷併記する。



▲自動運転バスの実証実験がスタート

## 行政視察

市議会では、議会が閉会中、それぞれの委員会が所管する事業について、先進自治体を視察し、調査しています。調査内容をお知らせします。

### 総務常任委員会

#### 住民とともに歩むまちづくり

11月7日：山口県周南市

周南市では「公共施設再配置計画」について伺ってまいりました。計画から実施まで16年、廃校になった小学校などを支所や市民センターにしていました。計画の周知には市内専門学校生による「マンガ」が用いられていました。



▲周南市での行政視察

11月8日：岡山県瀬戸内市

瀬戸内市では、地域の防災対策(自主防災組織の取り組み全般)について視察しました。「防災でまちづくり」を合言葉に、地元の小学校で「住民自治による避難所運営モデル事業」を行っていました。

### 教育民生常任委員会

#### 子どもを守り育てるまちづくりの実現へ

11月6日：岡山県高梁市

妊娠期から高校生まで切れ目なく支援する「子育てするなら高梁市」アクションプランを視察しました。相談体制の一元化や教育との連携が進んでいるとのことで、定住促進にも効果を上げているとのことでした。



11月7日：広島県東広島市

安芸津B&G海洋センタープールでは、老朽化に対応した安全確保と省エネ改修について視察し、子どもたちが安心して学べる環境づくりの重要性を再認識しました。今回の視察で得た学びを、洲本市の未来づくりにも生かしてまいります。

### 産業建設常任委員会

#### 市民に愛される自動運転バス先進地を視察

11月4日：岐阜県美濃市

美濃市では、空き地・空き家が増加し、特にうだつの上がる街並み周辺で課題となっていました。空き家の利活用事業について、金融機関が資金調達や連携先との調整を行うことで、古民家ホテルとして利活用が進み、他の事業にも発展したとのことでした。

11月5日：岐阜県岐阜市

岐阜市は、令和5年から5年間自動運転バスを継続運行することとしており、真っ赤でかわいらしい10人乗りのバスを「GIFU HEART BUS」と名付けて走らせていました。実際に乗車しましたが、まちでバスを見かけた歩行者が手を振るなど、市民からも受け入れられている様子でした。



▲岐阜市内を走る自動運転バス

教育民生常任委員会

ごしきこども園 開園に向け工事進む

ごしきこども園は、五色地域の5園を統合した幼保連携型認定こども園で、定員は180人。病後児保育室やプール、子育て支援室を備え、0歳から就学前まで切れ目ない保育・教育を行う計画です。来年4月の開園に向け、安全かつ着実に工事が進むことを現地で確認しました。また、五色健康道場は令和8年度から指定管理者の従業員用社宅として活用される予定で、改修工事の進捗状況や利活用計画も確認しました。



▲外観がほぼ完成したごしきこども園

10月議員研修

淡路広域水道企業団の経営戦略

淡路広域水道企業団 勝本 勲副企業長 ほか

◆10月24日

淡路広域水道企業団 副企業長 勝本 勲氏ほか3名の職員の方々により、「淡路広域水道企業団の経営戦略について 一未来へつなぐ あわじの水道」と題して研修をしていただきました。

まず、今後10年を見通した経営戦略がなぜ今必要なのか、そして淡路島の地域特性と水源の歩みについて説明がありました。その後、一部耐用年数を超過しているなど老朽化が課題である「施設面」、技術の継承などの「人材面」、給水の原価よりも供給単価が安価となる逆ザヤ状態である「コスト面」の三重課題を抱える現状について、わかりやすく教えていただきました。

また、現状の課題と将来予測に対応し、安全・安心・持続可能な水道を未来へとつなぐための中長期的な方針として、経営基盤の強化・災害対策の強化を掲げ、今後は健全な財政運営、確実な設備更新、人材・技術の承継による持続性ループの循環をつくり、構成市、関係機関との連携を重視し、島全体で持続可能な水道を実現する、と力強く話されていました。



11月議員研修

租税教育の現状と課題

洲本税務署 伊藤 博署長

◆11月18日

洲本税務署長 伊藤 博氏をお招きした議員研修では「租税教育の現状と課題」というテーマでご講演いただきました。

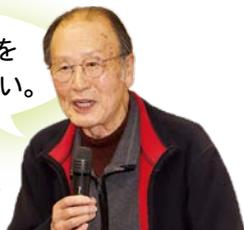


編集後記

◆今定例会では、委員会条例や議員報酬の見直しなど、時代の変化に合わせた組織の在り方を整える審議を行いました。世情が激しく移り変わる過渡期にありますが、守るべきは、市民の皆さまの安心と変わらぬ笑顔です。◆どんな波風が立とうとも、互いに支え合い、しなやかに立ち上がる「レジリエンス」の高いまちづくり。そのために、まずは私たち自身が対話を慈しみ、身近な繋がりを大切に育むことが、確かな一歩になると信じています。◆立春とはいえ、まだ寒さの残る季節です。皆様の日常に、穏やかな春の光が届く一年となりますように。本号が市政を身近に感じる一助となれば幸いです。(原田)



議員には住民の意見を  
受け取っていただきたい。



成瀬 大野連合町内会長

## 大野下・宇原県住の皆さん

### 町内会の支援

- 高齢化で役員のなり手が不足。役員の負担軽減、役員の確保に支援がほしい。
- 運営を支える具体的な取り組みを進めてほしい。



### 公園

- 遊具が老朽化しているため、安全な遊具を設置してほしい。
- 雑草管理などの課題があり、安心して遊べる環境を整えてほしい。

## 前平・木戸・池田・池内の皆さん

### 鳥獣害

- 鳥獣害対策として、個体数増加に対応できる体制を強化してほしい。



### アグリ公園の利活用

- 利用が減少している公園の活性化を進めてほしい。
- 芝生を整備して、駐車場を生かした公園利用を検討してほしい。
- 人が集まりやすい環境づくりを進めてほしい。

## 金屋・戎ヶ丘の皆さん



### 防災

- 消防ホースが老朽化しており、補助金を活用して更新を考えている。
- 保存水や米などの備蓄品を、市の半額補助により5年周期で更新している。

## 赤坂・宇原の皆さん

### 市民交流センターの利活用

- 駐車場不足を解消するため、旧亀谷市営住宅跡地を活用してほしい。
- 利用しやすい環境整備を進めてほしい。

### 議会の活性化

- 市政課題に対する問題意識を、議員全員で共有してほしい。
- 議会一般質問の動画がQRコードで見られることを積極的に周知してほしい。



議員と有意義な意見交換  
ができたことに感謝。



藤川 大野連合町内会副会長

事前、当日に出された意見は、執行部に見解などの回答を依頼し、所管する常任委員会、議員協議会にて確認・協議し、町内会へ回答を送付します。  
※後日、ホームページに掲載する予定です。

本紙は、定例市議会閉会の翌月15日に発行しておりますが、12月定例市議会についてお伝えする本号の発行日については、編集の日程の都合などにより2月15日発行とさせていただきます。